

かづの微生物農法研究会便り

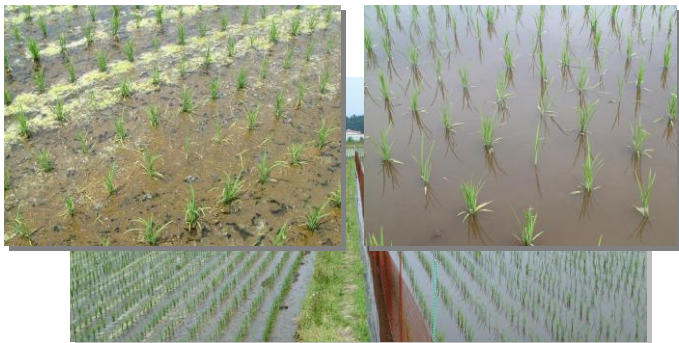
H24.5.1 No.114 (通算)



田植え直前の田んぼは、鏡面のよう。

豊富な雪解け水が田んぼを潤す。

全国的に長く雪の多かった冬が終わり、急速に春の陽気が訪れたかと思うと、桜の開花前線が日本列島を一気に南から北へと駆け抜けた感がありますが、当地鹿角の桜の開花は4月末、見ごろはゴールデンウィーク最中の5月3日頃。その後は5月中旬に桜より鮮やかな桃（かづの北限の桃）の花が開き、それが終わるとりんごの純白の花が園地を飾ります。そして5月20日頃から末頃にかけて、いよいよ田植えが始まります。ゴールデンウィークに土壤改良剤や肥料を田んぼに施し、耕して、水を入れ、均しと、田植えのための準備で5月は大忙しです。ちなみに「水田」は、単なるコメ生産の農地というだけでなく、実は多機能ダムとして大きな意味も持っています。多少の大雨などは水田がため池がわりとなって、下流域の急激な増水を防いでくれますし、夏の猛暑の時期は水を張った田面が和らげてくれるんですよ。



「微生物農法」って何のこと？

地球上の生き物の世界は微生物が主役

水田の土の中には沢山の種類、膨大な数の微生物が活動しています。私たち人間のお腹では善玉菌と悪玉菌のバランスが崩れると体調が悪くなりますが、イネにとってのお腹を水田土壌、とらえたのが微生物農法です。水田の土も微生物のバランスを整えてやるのがとても重要で、そのバランスが崩れるとイネが病気にかかりやすくなったり、生長が上手くいかなかったりします。有機肥料や堆肥で微生物バランスを良好に保つことで、健康で自ら美味しくなる作物作りをするというのが微生物農法です。



写真左が「微生物農法」の田面、右は「アイガモ農法」の田面です。微生物農法の田んぼは、正直にいうとちょっと汚いようにも見えますが、これは藻などの生物が大量に発生しているため。これが田んぼの中の（イネを含めた）生態系を形成し、独特の自然な美味しさをかもし出す生命のスープになるのです。

食べてお得なサービス実施中。

ポイントシールをためて送ると必ずもらえるプレゼント！



お買い上げいただいたお米、2800円毎に一枚ついてくるシールを集めて専用台紙に貼って送ると、お米などをもれなくプレゼント！

TOPICS

現在東北地方全域で「東北観光博」を開催中です。お得なバス

ポートなどもあり、様々な体験メニューも。

<http://www.visitjapan-tohoku.org/>

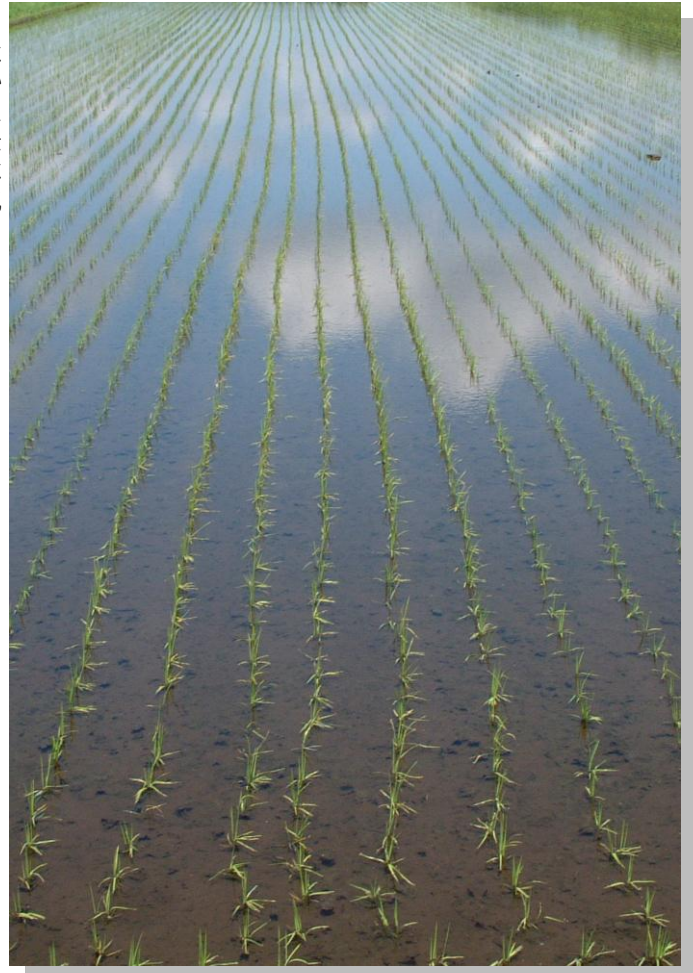


生産地から

5月は稲の苗作りから田植えのシーズンですが、色々な野菜も苗作りから畑や農業用ハウスへの定植ととても忙しくなってくる時期です。他に漏れず農業従事者も農家戸数もどんどん減っていている鹿角地域ですが、昨今の国産食料品への関心の高まりに期待し、今年こそはという気持ちで頑張っています。良いものは良い値段で、それなりのものはそれなりの値段で、市場経済そのものの形こそが、生産者の唯一無二の望みだったりします。



←花の種まき。花の種はごくごく小さく、細やかな作業が苦にならないようでないとうまくできない。病気も虫もつけてはいけない花の管理は根気が必要。それと花心も。



→トマトの苗。苗作りでその後の生長と収穫に大きな差が出てきてしまうため、根の張りや茎の太さ、葉の大きさ、色合いなどを天気と格闘しながら上手に調節して育てなければならぬ。



←カボチャの苗作り。トマト同様、苗作りは赤子の世話と同じ苦労。最初は小さなポットに密植し、生長とともに大きなポットに移して徐々に間隔を空けていく。



こちらのホームページで十和田湖や八幡平、鹿角地域の様々な観光案内がご覧いただけます。一度ご覧下さい。

(社)十和田八幡平観光物産協会

<http://www.ink.or.jp/kankou18/>

かつのファンクラブ

<http://www2.city.kazuno.akita.jp/fanclub/index.html>

美味しいお米とりんごのご注文/お問合せ先は・・・
〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字赤川端7-3

有限会社 安保金太郎商店

フリーダイヤル 0120-08-2028

WEBショップ <http://umaikome.jp>

e-mail kintaro@umaikome.jp



農家は家長が社長。ということは奥さんが専務か。どうもこの職業は社長より専務の方がオーソリティな農家が多いよう。



ぜひ一度
かつの
鹿角へ遊びに
来てみて下さい!

有限会社 安保金太郎商店
かつの微生物農法研究会
事務局

文・写真: 安保 大輔

この「微生物農法研究会便り」のバックナンバーや、毎月送付などのご希望がありましたらご一報下さい。感想もお待ちしています。